第16章 姉妹都市交流・国際会議

第1節 姉妹都市

姉妹都市提携の経緯第1項 アンカレジ市

都市候補にする旨の連絡があった。

『増補』によると、アンカレジ市長はアラスカ航空の日本支店長に対し、『増補』によると、アンカレジ市長はアラスカ航空の日本支店長に対し、『増補』によると、アンカレジ市長はアラスカ航空の日本支店長に対し、『増補』によると、アンカレジ市長はアラスカ航空の日本支店長に対し、

山ず、次のように提携に向けての工程を進めていくことになった。 市は定例会開会中の3月16日に市議会議員協議会に諮ったが特に異論は

- アンカレジ市について調査研究を行うこと
- · 全国ですでに提携している都市が行っている行事等の活動状況の照会
- 見の調整を行う資料がまとまり次第、市内の学校長、市民団体、商店等民間団体との意
- 4. 以上の結果をもって6月の議会時に議会の意向を聞き全国市長会を通じ

アンカレジ市長に伝えると、アンカレジ市の動きは早く同月23日には議会市は4月13日、提携に前向きである旨をアラスカ航空極東代表を通じて

れた。 尊敬と友情のきずなを強めることによって世界の平和に貢献しようとす る」とある。 立場で手を握り合い、文化、 人種、 は商工会議所、 について」を提案した。その理由には く賛同を得た。市は43年第2回定例会に議案第22号「姉妹都市関係の締結 諸団体代表と話し合いを行い、 て5月21日の市議会総務文教委員会に諮り承認された。次いで6月15日に で提携を議決した。このアンカレジ市の早急な対応に対し市も提携につ 宗教、 あるいは風俗、 議案は6月20日に原案通り満場一致で議決され提携が承認さ 婦人団体、 青年会議所、 学術、 習慣の相違を越えて市民同士が直接に独自の 市民の意向を調査したが否定的な意見はな 経済の交流を通じて相互の理解を深め 「国家間の外交という形式を離れて 記者クラブ、 青年団体などの民間

姉妹都市提携盟約書調印

守る中、 令官ブランド中佐らが同席し祝意を伝えた。 いう。吉田市議会議長、半田教育長、 談したが、千歳では通話中にお祝いの花火が打ち上げられ爆音が響いたと 1 9 6 8 両 市 議会の承認を受け、 午前8時30分(アンカレジ市は24日午後2時) 年6月25日に実現した。 両 市長による記念の電 通話は市長室で行われ報道各社が見 小池商工会議所会頭、 から15分間ほど対 話 対 駐留米軍副 談 が 昭 和 43

盟約書の内容は次のとおりである。
・ワードホテルで行われ、日米間で70番目の姉妹都市提携になった。
トワードホテルで行われ、日米間で70番目の姉妹都市提携になった。
トワードホテルで行われ、日米間で70番目の姉妹都市提携になった。
当年4月18日には満を持して米田市長夫妻、吉田市議会議長、小池千歳

アンカレッジ市と千歳市との間における姉妹都市提携に関する盟約

- ともに空港都市 -

る所以であることを確信し、 互に産業、 心併せて合衆国と日本の親善を促進し、 アメリカ合衆国アラスカ州アンカレッジ市と日本国北海道千歳市とは、 経済、 文化の交流を図るとともに、 ここに両市が姉妹都市として提携することを盟 ひいてはこれが世界平和に貢献す 両国の友好を深めることを念 相

969年4月21日

メリカ合衆国アラスカ州アンカレッジ市長

本国北海道千歳市長

米

 \mathbb{H}

忠

雄

(署名

· 印

George M.Sullivan (署名)

たが、 多発地帯であるが、 始まったアラスカ鉄道建設の基地がまちの発端で、 最北のアラスカ州中南部のクック湾を臨む海岸に位置する。1914年に 0 1 9 7 0 (S 45) 潤気候に属し、 かなり高緯度である。 行されるほど急速に発展した。北緯61度(千歳は42度 (9万5000人)まで急増した。 (東日本大震災はM9)の大地震が発生し大きな被害を受けた。 アンカレジ市 2 0 1 3 (H 25) (594・5平方*ロ) 年平均気温は2・8度 年の人口は12万8000人 (5万6000人) 1964年3月にアラスカ湾でマグニチュード9・2 気候は寒冷でケッペン気候区分によれば亜寒帯湿 年には州全人口 アンカレジ市とはどんな都市なのだろうか。 で千歳市の8・5倍に及ぶ。 の41 | 打に相当する30 | 万1000人 (8・1度)。 1920年に市制が施 面積は5079・2 以後数値のみ)と アラスカは地 提携当時 であっ 米国

た。

ある。 路が集束する交通と交易の要でありアラスカ州最大の国際的な商業都市で 伝統的な産業の水産業と林業などがある。 主要産業はクック湾での石油天然ガス採掘関連事業、 日本は主要な輸出相手国の1つで良好な関係を築いてきた。また、 さらに、 海路、 観光事業、 空路、 鉄路、 地域 道 0)

> 国最北に位置する重要な国防の拠点でもある ルメンドルフ空軍基地、 フォー リチャー F ソン陸軍基地が在

ŋ

米

エ

姉妹都市交流

展を催し、 に市民会館で開催した第15回千歳市民文化祭に際し第1回アンカレジ友好 会はさっそくアンカレジ市との交流を市民に普及すべく同年11月2~3日 好協会の設立準備委員会を昭和43 交流団体 市民の関心を喚起した。 千歳では調印に先立ち交流の母体となる千歳・アンカレジ友 (1968) 年10月2日に設けた。

都市の提携をしたが、 衣替えとなり同日付で解散になっ 会を新設し、 6月14日に千歳市姉妹都市交流協 流を支え続けた。 にアンカレジ訪問千歳友好使節団の4人を送るなど、 調印後の4年7月18日に千歳・アンカレジ友好協会が発足 友好協会は新組織に 千歳市は平成6 国内外の姉妹都市交流活動の一元化を図るため13年 (1994) 年に鹿児島県指宿市と姉妹 活動の主体として交 Ĺ 48 年2月

球チー 年から4年ごとに相互訪問を続け ホ 年8月にアンカレジ市から少年野 たのは子どもたちである。 行事や式典に両市長などが参加し てきたが、 てきた。それぞれの歴史的 両市の交流 ムステイと交歓会や試合など ム20人が訪れ6泊7日の 盛んな交流を続けてき 両 市は調印以 昭 な記念 和58 来3



搭乗直前のアンカレジ訪問千歳友好使節団 (S48.2)

野球を通して少年たちの交流が続いた。などを行った。以後、平成12年までにそれぞれ4回の訪問を繰りかえし、を行い、翌年は千歳から17人が遠征し、7泊9日のホームステイと4試合

児童同士の直接交流になった。6年3月には千歳の小学生姉妹都市派遣団 ク小学校で日本語集中学習プログラムを受講する20人の児童が来訪するな 校はチームを迎えて交歓会や青葉公園でキャンプを行った。これが最初の ら手紙や絵などの交換が始まった。5年に千歳を訪問した少年野球チーム 交流を呼びかけた。 を具体的な活動に発展させるため、 中にサンドレイク小学校の児童が含まれていた。これを知った千歳小学 28年までに20回の往来があり両校の交流児童数は延べ450人を超え 方、小学校では千歳小学校が授業の中で進めてきた (千歳小7人) がサンドレイク小学校を訪問し、 12月にサンドレイク小学校との交流が決まり、 3年9月にアンカレジ市に対し姉妹校 6月にはサンドレイ 「国際理解教育 翌年か

私は、アラスカに行って、驚いたことがたくさんあります。その中でも自11年に訪問した千歳小学校児童の素直な驚きが次のように記されている。『千歳・アンカレジ姉妹都市提携30周年記念誌』にはアンカレジ市を国際交流はお互いの文化を知り多様な価値観を認め合う絶好の機会であ

アラスカの人はムースが歩いている中に暮らしているんです。自然の中に家しもあのムースが現れたら交通事故を引き起こしてしまうでしょう。でも、くりと歩いていました。(略)私にとっては不思議な光景でした。千歳にも然の中に町がある事です。ホームステイの家のまわりで自然のムースがゆっ

市緑地公園「アンカレジパーク」が完成した。パークゴルフ場のほかジ同11年に提携30周年記念事業として前年度から着手していた青葉丘の1

道があるんです。

「すごいなあ」と思いました。

ム市長が出席して開園式が行われた。ギングコースや大型遊具が設けられ、10月2日に東川市長とマイストロー

期待されている。 関する意識の向上をテーマに議論された。 開催した。 から高校生2人、 ミットをアンカレジ市で開催した。 訪問が始まった。 披露したほか、アラスカ大学アンカレジ校の学生と親睦を深めた。 大学のYOSAKOIソーラン部の10人が参加しアンカレジ市民に演舞を AKOIソーラン披露・大学生交流事業が同時に開催され、 月には提携45周年記念事業として姉妹都市ユースサミットをアンカレジで 合われた。 22年からは新たに市内の中学校とアンカレジ市のミアー その成果はサミット宣言として両市長に提出した。また26年8 両市から高校生各4人が参加し、 中学生3人が参加し地球温暖化と国際交流について話し 28年までに7回の往来があり今後も交流の継続と拡大が 21年7月に提携40周年記念事業として姉妹都市子供サ 地元の大学生2人、 また、 姉妹都市交流の促進と防災に 同記念事業としてYOS 高校生4人と千歳 ズ中学校 千歳科学技 0 相

問 長、 は姉妹都市提携40周年記念の千歳市民訪問団の一員としてアンカレジを訪 社会貢献賞 年にはアンカレジ市から名誉市民の称号を授与された。 らの功績により63年に千歳市功労者(教育文化功労)として表彰され、 語 わっていく。 カレジ市を訪問し調印式に出席した。以後、 たのが当時52歳の真鍋である。 通訳 しサリバン元市長と旧交を温めたが、 北海道スペイン語協会会長、 スペイン語の普及と国際親善に尽力し千歳市姉妹都市友好協会の副会 真鍋辰夫 (国際協力功労者) 65歳で経営していたレストランを閉店すると、 昭和43年の両市長の電話対談に通訳として同席 翌年には訪問親善使節団の一員としてアン を受賞した。 北海道日米協会理事なども務めた。 28年9月に100歳の生涯を閉 21年7月、 千歳の国際交流に深くかか 平成19年に北海道 93歳になった真鍋 後の人生を英 して

た。

参考文献

妹都市交流協会 スサミット報告書』、 千歳市『ちとせ 『姉妹都市子どもサミット報告書』2010年、 アンカレジ姉妹都市提携30周年記念誌』 『YOSAKOIソーラン披露 ・ 大学生交流事業報告書 1999年 『姉妹都市ユー / 千歳市姉

第2項 姉妹都市提携の経緯 指宿市

マジャクシを届けたことだという。実はそれ以前の45年頃から毎年1月末 ペーン」PRのための一行が千歳を来訪し、 提携のきっかけは、 昭 和 48 1 9 7 3 年に指宿市から「菜の花キャン 市長に菜の花や保育園にオタ

写真16-2 指宿市から届いた菜の花 (S58.1.31) 以後は両市の観光団体を通じ とスカイレディ千歳を派遣し て互いの観光行事にミス指宿 スズランを贈っていた。 届けられ、千歳からは指宿に に託されて千歳市と札幌市に 菜の花が全日空の客室乗務員 ンの一環として、 合うなどの交流を続けていた。 に鹿児島県の観光キャンペー 成4 1 9 9 2 指宿市産 年4月 48 年

> で指宿市側から姉妹都市提携の正式な申し入れがあった。 て指宿市は次の4点を挙げた。 に開催される指宿アロハ祭りのPRのために千歳市役所を訪 提携の動機とし れ その席上

- 鹿児島空港と新千歳空港を結ぶ直行便が就航したこと
- 千歳市とは20年以上にわたって花の交流などを行ってきたこと
- 千歳市には鹿児島県出身者が多いこと

3 2 1

湖や温泉などの共通点があること

 $\overline{4}$

月の定例市議会において全会一致で姉妹都市の提携を議決した。 千歳市長に改めて正式な姉妹都市提携の申し入れがあり、千歳市は同 し添えられた。5年2月4日には千歳市を訪問した肥後指宿市長から東 姉妹都市提携を指宿市市制施行40周年記念の事業としたい旨も申 年12

としては初の国内姉妹都市提携であった。盟約書には 善を深め、 と肥後正典指宿市長が盟約書に調印し姉妹都市の提携が成立した。千歳市 しながら産業・経済・教育・文化など各分野の交流により相互の理解と親 6年4月15日の指宿市市制施行40周年記念式典の席上で東川孝千歳市長 両市民の福祉向上と市勢発展を推進しよう」とある。 「地域の特色を生か

ラ湖 と隣接し、 表される唐船峡の周辺地域は、 続きになる知林ヶ島があり、 島湾を隔てて大隅半島が、北に鹿児島市、 2000人、 容で薩摩富士とも呼ばれる開聞岳を望む。 指宿市 かおり風景百選に認定された。 周囲長15*ロ)があり、 九州薩摩半島の最南端、 南は東シナ海に臨む。 面積148平方*Lの花と緑に溢れたまちである。東には鹿児 平成13年に 南西部には標高924%、 8年に国土交通省の水の郷百選に認定され また、 中央部には九州 鹿児島湾口西側に位置する人口 1日に10万歩も湧き出る清水に代 「指宿知林ヶ島の潮風 東部には干潮時に砂州が現れ陸 西は畑作地帯が広がる南九州市 一大きい池田湖 見事な円錐形の が環境省 (カルデ 74万

恵まれ、温泉を中心とする観光業が盛んで年間300万人が訪れる。ており世界に類を見ない天然砂むし温泉をはじめ、豊富に湧出する温泉に候のため市内にはソテツが自生している。市の全域を霧島火山脈が縦断している。年間平均気温は暖流の影響で約18度と高く、温暖で亜熱帯的な気

れが転訛して現在の地名なったという説がある。豊かな温泉地として古来から「湯豊宿(ゆほすき)」と呼ばれており、こ豊かな温泉地として古来から「湯豊宿(ゆほすき)」と呼ばれており、こ地名の指宿を「いぶすき」と読むことは難しい。諸説あるがその一つに

姉妹都市交流

指宿市との交流は多岐にわたって活発に行われてきた。観光イベントの 指宿市との交流は多岐にわたって活発に行われてきた。観光イベントの 指宿市との交流は多岐にわたって活発に行われてきた。観光イベントの 指宿市との交流は多岐にわたって活発に行われてきた。観光イベントの 指宿市との交流は多岐にわたって活発に行われてきた。観光イベントの 指宿市との交流は多岐にわたって活発に行われてきた。観光イベントの

なっている。
れ、聖亜幼稚園からはサツマイモなどが送られ園児たちの大きな楽しみにれ、聖亜幼稚園からはサツマイモなどが送られ園児たちの大きな楽しみにどの発泡スチロール製の箱に入れた雪やトウモロコシ、ジャガイモが送らになり、職員の相互訪問や作品交換のほか、毎年、青葉幼稚園から80個ほまた、千歳市の私立千歳青葉幼稚園と指宿市の私立聖亜幼稚園は姉妹園また、千歳市の私立千歳青葉幼稚園と指宿市の私立聖亜幼稚園は姉妹園

テイや様々な体験を通して交流している。千歳の子どもたちは8月に真夏互交流事業として同実行委員会により毎年20人ほどが相互訪問しホームス小学生による相互交流も続いている。7年から千歳市・指宿市青少年相

特徴的な季節を実体験している。の指宿を、指宿の子どもたちは12月に真冬の千歳を訪問し南北それぞれ

は1年間であるが、任地で伴侶に出会う幸せ者もいる。
に当期間参加し両市の交流を深めるいわば親善大使の役割を担っている。派遣期間の任地で通常勤務につく傍ら、姉妹都市の代表として各種行事に積極的にの任地で通常勤務につく傍ら、姉妹都市の代表として各種行事に積極的にあた。 7年度から千歳市と指宿の任地で通常勤務につく傍ら、姉妹都市の代表として各種行事に積極的にない。市役所間の職員相互派遣を実施している。派遣された職員はそれぞれて地で通常勤務につく傍ら、姉妹都市の代表として各種行事に積極的にないる。 スポーツの交流は12年から1月のいぶすき菜の花マラソンと6月の千スポーツの交流は12年から1月のいぶすき菜の花マラソンと6月の千

愛称は市内在住の松坂あゆみの作品「いぶりん」となり人気を博した。長1㍍50秒、体重8㌔あまり。サケのふるさと館で公開され、公募の結果、「池田湖オオウナギ群棲地」に生息していたオオウナギが寄贈された。体

参考文献

指宿市田/指宿市観光協会田/千歳市『要覧ちとせ』/『千歳民報

第2節 友好親善都古

、ルウェー王国コングスベルグ市との交流

威ある国際的なスキー競技の大会である。 技が行われてきたスキー競技の聖地であり、 スロ市中心から北西約7%に広がる丘陵である。 ウェー王国駐日大使夫妻も参加し、 り」を市内のちとせインターゴルフクラブで実施した。翌53年には、 るため、 ディック複合競技やクロスカントリースキー、 メンコーレンマーチ」と改称した。 その際に大会名を「千歳7万人市民歩くスキーの集い 市民歩くスキーまつり実行委員会が 1 9 7 7 年に「冬の健康」をテーマに歩くスキーの普及を図 3年後の5年に再度駐日大使夫妻が参 大会名にあるホルメンコーレンは ホルメンコーレンマーチは権 「6万人の歩くスキーまつ ここは1892年からノ スキージャンプなどの競 ちとせホ ノル

61年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の盛り上がりをノルウェー王国との都市提携に結び付けてはどうか」との盛り上がりをノルウェー王国との都市提携に結び付けてはどうか」との高り上がりをノルウェー王国との都市提携に結び付けてはどうか」との高り上がりをノルウェー王国との都市提携に結び付けてはどうか」との高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の高年の第10回大会の際にノルウェー王国大使から「この歩くスキー大会の虚り上がります」という。

の・山)と命名したことによる。現在は先端軍需産業の重要な拠点になっ世が銀を産出する重要な鉱業地区であることからコングス・ベルグ(王コングスベルグ市の名称は、1624年にノルウェー王クリスチャン4

気候は亜寒帯に属するが海流の影響で比較的温暖である。ている。人口は2万5000人、面積は792平方*゚で、北緯59度にあ

で勲位褒状とともに駐日大使から渡部会長に伝達された。 東章が授与された。第4回ちとせホルメンコーレンマーチの交歓会の席上ラブの渡部会長に、国王オラブ5世からノルウェー王国名誉勲位第1騎士平成2(1990)年2月に長年の交流に注力してきた千歳国際交流ク

などの交流が行われた。

14年6月に千歳から東川市長をはじめとする9人の訪問団がコングスベルが市長夫妻がプロスキーヤーを同行して千歳市を来訪ルグ市を訪れ今後の学校やスポーツの交流について意見を交換した。翌年ルグ市を訪れ今後の学校やスポーツの交流について意見を交換した。翌年ルグ市をおれた。

26年には友好親善都市提携の25周年記念事業として1月に千歳市から中学生6人、高校生8人、引率3人からなる訪問団が派遣された。学校訪問学生6人、高校生8人、引率3人からなる訪問団が派遣された。学校訪問けたさな成果だった。同年2月のちとせホルメンコーレンマーチには駐上大使館から1等書記官が参加。6月にはコングスベルグ市職員のハルバル・ベーヌムが1ヵ月間市内に滞在しエネルギーシステムなどの視察研修や情報交換、行事への参加を通して市民や千歳市職員、企業関係者等と交や情報交換、行事への参加を通して市民や千歳市職員、企業関係者等と交や情報交換、行事への参加を通して市民や千歳市職員、企業関係者等と交や情報交換、行事への参加を通して市民や千歳市職員、企業関係者等と交や情報交換、行事への参加を通して市民や千歳市職員、企業関係者等と交や情報交換、行事への参加を通して市民や千歳市職員、企業関係者等と交

中華人民共和国吉林省長春市との交流

月の平均気温がマイナス15・1度。7月は23度と寒暖差が激しい気候であ積は2万57平方*。北緯43~45度に位置し北海道旭川市とほぼ同緯度。1年まで満州国の首都とされ新京と呼ばれた。現在の人口は726万人、面ある。1800年に清朝により長春庁が置かれ、1932年から1945長春市は中華人民共和国(中国)東北部の吉林省政府が所在する省都で

宮城県仙台市と、60年に提携した岩手県金ヶ崎町がある。年調)。千歳市以外の日本の友好都市は昭和55(1980)年に提携したている。日系企業は自動車メーカーなど中心に76社が操業している(H24の企業は農業のほか、中国の自動車製造や映画製作の重要な拠点となっ

受け入れなどが行われていた。しかし62年以降は活動が休止していた。念行事として開催された全日本対中国女子バレーボール国際交歓試合でた。55年からは中国対外友好交協会黒竜江省分会からの農業実習生6人のた。55年からは中国との交流を担い活動した。54年5月22日から6月2日にかけて第1次千歳市民友好訪中団23人が北京、長春、吉林などを訪問した。55年からは中国大好交協会黒竜江省分会からの農業実習生6人のた。55年からは中国対外友好交協会黒竜江省分会からの農業実習生6人のた。55年からは中国対外友好交協会黒竜江省分会からの農業実習生6人のた。55年からは中国対外友好交協会黒竜江省分会からの農業実習生6人のた。55年からは中国対外友好交協会黒竜江省分会からの農業実習生6人のた。55年からは中国対外友好交協会黒竜江省分会からの農業実習生6人のた。

16年3月に長春市の祝業精市長が千歳市を訪れ交流促進の要請があった。 16年3月に長春市の祝業精市長が千歳市をした。 16年3月に長春市の祝業精市長が千歳市を訪れ交流促進の要請があった。 16年3月に長春市の祝業精市長が千歳市を訪れ交流促進の要請があった。

同年10月11日に中国に向けてチャーター便が飛び立った。市民会議が企

16日に帰国した。

「千歳・長春友好の翼」に市民101人と、友好親善の調印面したツアー「千歳・長春友好の翼」に市民101人と、友好親善の調印が行われ、細見議長らは市議会に当たる人民及立した。12日には記念植樹が行われ、細見議長らは市議会に当たる人民成立した。12日には記念植樹が行われ、細見議長らは市議会に当たる人民人表大会常務総務委員会を表敬訪問した。

「千歳・長春友好の翼」に市民101人と、友好親善の調印画したツアー「千歳・長春友好の翼」に市民101人と、友好親善の調印画したツアー「千歳・長春友好の翼」に市民101人と、友好親善の調印

校生を含む17人が長春市を訪れ中学校訪問やホームステイを実施。号が贈られた。22年1月9日~13日に友好親善都市5周年を記念して中高日中交流千歳市民会議藤本敬一会長に長春市から「長春市栄誉市民」の称19年3月長春市副市長をはじめとする11人が千歳に来訪し、翌年6月に

参考文献

民共和国長春市田/ノルウェー王国コングベルグ市田/北海道 ・ 中国交流デジタ在瀋陽日本国総領事館田/自治体国際化協会田/千歳市『要覧ちとせ』/中華人

ル資料館

第3節 その他の交流

千歳市立桜木小学校とサイパン島ガラパン小学校

教諭、 盟約書には ピングモールで開催した雪まつりに雪を提供したことがきっかけだっ 献する」と記されている。13年2月には桜木小学校の児童代表4人と引率 18日にガラパン小学校の図書館で両校長が盟約宣言書に署名し締結した。 ラパン小学校から受け入れる旨の手紙が届いた。 3ヵ年にわたって国際理解の教育の推進を図ることを学習目標に掲げてい えて交流を深めた。 交流はアメリカ合衆国の自治領北マリアナ諸島自治連邦区のサイ (1995) 5) 桜木小学校は南国の小学校との交流を希望したところサイパン島のガ 返礼にサイパン島の小学生たちから支店に寄せられた絵画などを平成 PTA役員などの一行8人がガラパン小学校を訪問し言葉の壁を越 日本航空札幌空港支店 「相互理解と国際感覚を身に着け創造性豊かな子供の育成に貢 年5月20日に桜木小学校に寄贈した。 交流はその後10年ほど続いた。 (当時) がグループ会社の経営するショ 姉妹校の盟約は8年2月 同校ではこの年から パン

千歳高等学校と大韓民国空港高等学校

諾した。 率が似ていることなどの共通点が多くあり千歳高校は提携の申し入れを受 歳空港に隣接する。 後千歳高校)に姉妹提携の希望が伝えられた。空港高校は生徒数180 幌駐在の韓国教育員院院長と千歳市教育委員会が仲介し千歳高等学校 本の高等学校との交流を希望していたが、 人36学級で金浦空港に隣接し、千歳高校は生徒数1200人27学級で新千 大韓民国 同年11月に空港高校の招請を受け千歳高校の代表団が訪問し11月 (以後韓国) 両校ともに男女共学や国際空港に隣接すること、 のソウル市立空港高等学校 平成6 1994 (以後空港高校) 年6月に札 は 以 \mathbb{H}

8日に空港高校で姉妹提携式が行われた。提携の目的に掲げられたのは21を担う国際人の育成であった。7年2日に空港高校の代表団が来日し、12月には千歳高校一行36人まった。7月には空港高校一行38人が来日し、12月には千歳高校一行36人が訪韓し高校での交歓会やホームステイ先で交流を深めた。両校の相互訪が訪韓し高校での交歓会やホームステイ先で交流を深めた。両校の相互訪がは今日まで継続して行われている。同世代間で相互理解を深める交流が始まった。7月には空港高校の代表団が来日しまった。7月には空港高校の付表団が来日しまった。7月には空港高校で姉妹提携式が行われた。提携の目的に掲げられたのは21

動を体験するなど高校生間の交流が実現している。などのアジアの高校生が千歳高校や北陽高校を訪問し、習字の授業や部活などのほかに、近年は千歳観光連盟が訪日教育旅行を誘致した結果、台湾

千歳観光連盟と大韓民国済州特別自治道観光協会

歓迎を受けた。その後、 して昭和56 光協会は、 入れだったこともあり、 人が参加した。 15日から3泊4日の提携記念事業 優れた自然景観を背景に観光振興を図ってきた千歳観光連盟と済州道 日韓両国の友好と交流を深め、 (1981) 年8月31日に姉妹提携の調印を行った。 済州島においては外国からの初の航空チャーター便の乗り 空港では済州農業高校ブラスバンドの演奏などで 毎年のように相互に訪問し交流を深めている。 「韓国・済州島の旅」 双方の観光事業の発展を目的と には市民ら110 同年10月

第4節 国際会議

国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議

開発会議、 で新千歳空港を核とした国際交流都市づくりを標榜し、 議を誘致した。 〔国連千歳フォーラム)である。 千歳市は平成3 外務省、 国際連合大学、 通商産業省 会議の名称は「国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議 (1991) 年度からスタートした第4期総合計画 (当時) 開催地の国連千歳フォーラム実行委員会が主催 国際連合の常設機関である国際連合貿易 が後援した。 4年に初の国際会 の中

ティアや会議傍聴者の募集などに従事し会議を支える裏方を担った。調整、スタディツアー(視察)の準備、会議開催の市民周知、通訳ボランおき、開催時は90人の体制が組まれた。出席者の宿泊場所や会議場の確保おき、開催時は90人の体制が組まれた。出席者の宿泊場所や会議場の確保実行委員会は北海道および千歳市のほか市内を中心に15団体が参加し、

あった。 参加した。 委員会、 リランカ、タイ、 カ、イギリス、インド、 航千歳(現・ホテルグランテラス千歳)。報告書によると参加国はアメリ 大学、国際連合貿易開発会議、 開催期間は5月11日から15日の5日間で、 ロシアの15ヵ国。 経済協力開発機構、 会議参加者は57人、 中国、 国際機関はアジア開発銀行、 日本、パキスタン、 インドネシア、 国際連合、 市民などの会議傍聴者数は延べ873人で 国際復興開発銀行、 韓国、北朝鮮、 国際連合広報センター、 バングラディシュ、マレーシ 会場は本町4丁目のホテル日 欧州共同体の9機関が アジア太平洋経済社会 シンガポール、ス 国際連合

┗で1700万円)を、開催地(北海道・千歳市)が4000万円を拠会議の経費は主催する国際連合貿易開発会議が13万米ドル(当時のレー

778万円が含まれていた。出したが、その中には市内の企業や団体から寄せられた46件の協賛金約

時)、 となどが7つの会議により論議された。 す良い機会になった。 空港を核に交通・物流の拠点化と工業集積の一体化が進む千歳の特色を示 空港ターミナルビルのほか、 ツアーがあった。 中で途上国が利益を受けるためには途上国間の相互協力が必須であること 進を図るための研究や協議であった。 会議の目的はアジア太平洋地域の経済発展、 今後の経済の成長発展の加速には途上国間の貿易拡大が必要であるこ 支笏湖ビジターセンターを視察した。豊かな自然に恵まれ、 海外の参加者を中心に48人が当時完成間近だった新千歳 臨空工業団地のキッコーマン㈱千歳工場 世界経済が国際化と統合化に向かう 会議以外では13日午後にスタディ 特に発展途上 三国間 の協力促 新千歳

は市民歓迎昼食会が市内のレストランびーとる101で会議参加者33人を 露するなど親睦を深めた。 ミスト、 ラブ、千歳ライオンズクラブ、 招いて開かれた。 の首飾りを各国参加者の首にかけ、微笑ましい歓迎の輪が広がった。14 を終えると、 歓迎レセプションが開催された。 セプションが、 歓迎の公式行事は、 千歳青年会議所の6団体から230人余りが参加し詩吟舞踊を披 市内4ヵ所の保育所の子どもたちが2週間かけて作った折 13日に札幌市内のホテルニューオータニ札幌で北海道知事 市民は千歳ロータリクラブ、千歳セントラルロータリク 11日に千歳市内のホテル日航千歳で千歳市長歓迎 千歳中央ライオンズクラブ、 市民の歓迎も相次いだ。 13日午前 国際ソロプチ

千歳フォーラム宣言を採択し閉会になった。 最終日の15日は午前中まで会議を行い、午後からの最終全体会議で国

国連千歳フォーラム宣言

・1992年5月11日~5月15日にかけて日本国北海道千歳市において主としアジア太平洋地域からの42人の政策立案者、経済人、財界人及び研究をしアジア太平洋地域からの42人の政策立案者、経済人、財界人及び研究をしアジア太平洋地域からの42人の政策立案者、経済人、財界人及び研究を員会ESCAP、国連貿易開発会議UNCTAD、国連大学UNU等の国連機関からの関係者が一堂に会して開催された本フォーラムを共催された諸団体、特に北海道庁並びに千歳市に対し、その温かく友好的な歓迎と大諸団体、特に北海道庁並びに千歳市に対し、その温かく友好的な歓迎と大躍していただいたことに感謝の意を表する。

3. またカンボジアに関するイニシアティブ及びベトナムの解放に伴うイン3. またカンボジアに関するイニシアティブ及びベトナムの解放に伴うイン3. またカンボジアに関するイニシアティブ及びベトナムの解放に伴うイン2とができる点に注目する。

年1992年にこの重要な国連千歳フォーラムが開催されたことによって4.1926年に初めて千歳滑走路が建設されたことによって、さらには本

明確になった千歳スピリット、千歳精神が生き続けることを、そして千歳フォーラムで話し合われた諸問題について継続的に見直しをし、発展させ、そしてその実現に役立つようにするため同様の会議

にするため同様の会議

を今後開催していくように提案いたします。

都市づくりへ大きなステップになったと評価した。際化や国際問題に対する理解が深まったことなどとし、千歳市の国際交流会議開催の経験ができたこと、千歳の知名度を高められたこと、市民の国実行委員会は、千歳初の国際会議開催がもたらした成果をまとめ、国際

国際会議の開催状況

月の 平洋経済社会委員会 係者の6人が国際航空運送規則に関して議論を深めた。 航空運輸協会、 政策セミナーが開かれた。 に働き航空運輸などの経済活動に関する会議などが開催された。 あって開催の実績を重ねていった。新千歳空港が立地している点も有 î 日から29日まで開催し24ヵ国6国際機関の100人が参加した。 国連千歳フォーラム以降の国際会議は、 9 9 4 T U T 年7月に国際民間航空機関 国際民間空港協議会の3国際機関、 (国際通信連合) (ESCAP) アジア太平洋地域の21ヵ国と主催者および 国際会議には19ヵ国から154人が参加 第9回調整グループ会合は、 I C A O 千歳市(航空当局、 0 が主催する航空運 積 極的な誘致活 国際連合アジア太 航空会社関 平成 国際



写真16-3 折り鶴の首飾りを持って 参加者を待つ子どもたち

リの目がに続います。これであるこの月には見ずなも前で、これのでは、通信技術を紹介したワークショップに市民900人が訪れた。

民団体の育成が進んだことを挙げたが、厳しい財政状況も一因だった。 おた、会議やシンポジウムの傍聴、展示会やワークショップに参加した。また、会議やシンポジウムの傍聴、展示会やワークショップに参加しが開催され、延参加国数は100ヵ国、延参加者数は1400人にのぼっが開催され、延参加国数は100ヵ国、延参加者数は1400人にのぼっが開催され、延参加国数は100ヵ国、延参加者数は1400人にのぼっが開催され、延参加国数は100ヵ国、延参加者数は1400人にのぼっが開催され、延参加国数は100ヵ国際会議を誘致した4年から16年の間に千歳市では通算7回の会議

場で首脳たちに直接提出した。 会 テーマに話し合った。ここでも事業を支えたのは市民が組織した実行委員 メリ 7月1日から10日まで開催された。J8サミットはG8各国を中心に世界 2008千歳支笏湖」が外務省と国際連合児童基金(ユニセフ)の共催で モンゴル・ロシア) の中高生が世界の問題を話し合う国際交流事業である。 [、]組み」、「貧困と開発」、「国際保健とHIV/エイズを含む感染症」を その後、 (27団体・個人27人) であった。 宣言書は同月7日にアクションプランとともにJ8の代表者がG8会 ·カ・イギリス・イタリア・イラク・カナダ・キルギス・コートジボ ル ・ドイツ・日本・ネパール・バルバドス・フランス・南アフリ 20年7月のG8北海道洞爺湖サミットに伴い「J8サミット の中高生 14 ~ 17 歳) 話し合いの結果は千歳宣言にまとめら 39人が参加し 今回は15ヵ国 「気候変動への取

千歳科学技術大学での国際会議

国際会議を開催した。翌年10月には国内外の著名な研究者を集めて第1回術国際会議を毎年開催してきた。開学年は開学記念として有機非線形光学呼ばれる光に関する先端技術を学び研究する大学であり、専門性の高い学平成10(1998)年4月に開学した千歳科学技術大学はホトニクスと

ベ4000人に達する。れた学術会議に成長した。29年で18回を数え、傍聴者を含めた参加者は延千歳光科学国際フォーラムを開催し、以後今日まで継続し国際的に認知さ

るのはこの効果。光の持つ特性や現象を研究し光で光の制御を目指す学問。果という。例えば透明なメガネが強い紫外線で発色しサングラスに変化す(1)光の強さにより光の透過率や屈折率が変化する現象を非線形光学効

註

参考文献

書1992年/千歳科学技術大学『千歳科学技術大学報』各年、千歳科学技術大国連千歳フォーラム実行委員会『国際連合アジア・ 太平洋経済協力千歳会議報告

学 HP